

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、またおじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 9月12日(木)

午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

石田三成という底知れぬ男の物語

今村 翔吾著 / 『八本目の槍』



新潮社

小説

戦国の世、秀吉の配下となった8人の若者。武勲を上げた7人は「賤ヶ岳の七本槍」と呼ばれるように。己の望みに正直な男たちは、迷いながらも別々の道を進む。残る1人、石田三成は時代に抗い、関ヶ原ですべてを失った…。石田三成という底知れぬ男を、著者ならではの視点で鮮やかに描き出した、読み応えのある1冊です。

イヤな気持ちってどうしたらいいの？

ヨシタケ シンスケ作 / 『ころべばいいのに』



ブロンズ新社

児童書

わたしには嫌いな人がいる。イヤなことを言ったり、したりするんだから。誰かを憎んでいる時間があったに、イヤな気持ちで自分じゃどうしようもない。そんなときは…。読むうちに「うん、そんな気持ちわかる」と自分のイヤな気持ちにも向き合えて、心が軽くなります。大人にもおすすめの1冊です。

長生きして逝った動物たちと飼い主の日々

石黒 由紀子監修 / 『楽しかったね、ありがとう』



幻冬社

一般書

15歳の犬から25歳の猫まで、愛すべき存在を介護し、見送ったあとに残った想いは。20人の飼い主取材し、自らも14歳の柴犬9歳の保護猫と暮らす著者がつづる、犬と猫と人のそれぞれの物語。「寂しいけれど悲しくはない」「先に行き、散歩しながら待ってて」温かな気持ちに包み込まれるような1冊です。

初心者から上級者まで！紙バンドで作る素敵なかご

古木 明美著 / 『紙バンドで作る編み応えのあるかご』



日本ヴォーグ社

教養娯楽

編み模様が複雑だったり、面白い形だったり、編み地が凝っていたり…。紙バンドで作る編み応えのあるかごの数々を紹介しています。編み方の基礎や作り方を詳しい工程写真付きで解説しているので、難しい編み模様にも楽しみながらトライできます。できあがった時に大きな満足を得られること請け合いの1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

お いしそうな10種類のくだものが、みずみずしく、ていねいに描かれた絵本です。

くだものの姿、形を描いた次のページには、きれいに皮をむいて食べやすいように切ったリンゴや、洗いたてのイチゴやブドウを、「さあ、どうぞ。」と、すすめてくれる場面が描かれています。どのくだものもまるで本物のようで、味と香りが口のなかにひろがるようです。

今月の案内人

小屋敷 京子さん
〔糸田区〕

いろいろなくだものの、色や形を、楽しむことができます。

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『くだもの』(平山和子作)

ブドウ、ナシ、リンゴなど、日常子どもたちが食べるくだものを、まるで実物かと思わせるほど鮮やかに描いた、いわば果物の画集

それからもうひとつ、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃん等々、読んでくれる身近な人といっしょに、「さあ、どうぞ。」等、ことばや動作でのやりとりを楽しみながら、読み進めていくこともできる絵本です。

離乳が始まる頃のあかちゃんから、2・3歳くらいの子どものさんまで楽しめる絵本です。ぜ

ひ、読んであげてください。おすすめの一冊です。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町公民館主催講座 子ども講座

7月31日(水) 町白旗ふれあいセンターで、学童保育「げんきクラブ」を対象に、子ども講座「夏休み工作」を開催しました。児童らは、ペットボトルを活用した貯金箱の作成に挑戦しました。



▲思い思いの貯金箱を作成した「げんきクラブ」の児童たち

児童らは、まず500ミリリットルのペットボトルを好みの大きさにカット。色紙を

使って目や耳、足、角などを作り、カットしたペットボトルに貼り付けてブタやカブトムシ、犬などそれぞれが思い描く貯金箱に仕上げていきます。しっぽをつけたり、目の位置や大きさにコインを入れる穴を開け自分だけのかわいい貯金箱が出来ました。

町民大学

令和元年度町民大学開講式

8月24日(土) 町生涯学習センターで、町民大学開講式を開催しました。

元新甲佐町史編集委員長の佐藤征子さん(仁田子区)を講師に迎え、「皇国地誌(郡村誌)の紹介」と題し、明治の暮らしについて講演していただきました。



▲佐藤さんの講演を聞き入る参加者の皆さん

佐藤さんは上益城郡村誌の記述の中から、明治の甲佐町の戸数や牛馬の数、主要作物や甲佐の鮎の獲れ高、皇室に献上されていた粕漬鮎などを紹介。

また江戸時代の教育について、熊本県は当時、全国でトップ5の寺小屋数がある教育県であり、本町にも明治には15の小学校があったことなどの説明があり、参加した約40人は興味深く説明に耳を傾けました。

▶町民大学開講のお知らせ 講演会を開催します

●開催日時
9月13日(金)
午後7時～午後8時30分

●会場
町生涯学習センター・ホール

●演題
「甲佐町と私の陸上人生」

●講師
東京甲佐会会長
蜂谷 和明 さん

第2回となる町民大学では、甲佐高校在学時に国体へ出場し、その後、箱根駅伝にも4度出場された蜂谷さんに自身の陸上人生について語っていただきます。

●公民館講座や町民大学などに関する
お申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■第41回甲佐町学校人権教育部会 課題別研修会を開催

7月29日(月) 甲佐小学校で、学校人権教育部会課題別研修会が開催されました。同研修会は、同問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けすべての町教職員の基本的認識を深めることを目的に、甲佐町学校人権教育部会(前川和宏会長)が開催。講演会と4つの分科会で実施し、町内の保育園の保育士や学校の教職員など112人が参加しました。

講師の吉田文男さんは、「同和対

策事業特別措置法」が制定された年に教師となり、県下の高校に同和教育推進教員が配置され始めた頃、異動先の高校で初代推進教員となられ「同和」教育と出会われました。現在は熊本県人権教育研究協議会事務局長を務めておられます。吉田さんは、「教科書から『土農工商』が消えた!」という演題で講演。『土農工商』は職業名であり身分名ではなく武士・百姓・町人の3つであったことなどを話されました。

参加者からは、「正しい知識を身につけ、自分の責務の重さを感じながら授業をしていかなければなら

ないと思いました。教える側の認識を見直す素晴らしい講演でした」という感想が寄せられました。



▲講演を行う吉田さん

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)